

新潟駅南口のけやき通りをイルミネーションで飾る冬の風物詩「光のページェント」の点灯式が7日に行われるのを前に、毎年式典に参加する笹口小の児童たちが、新潟市西区

出身のピアニスト遠藤征志さん(40)＝東京都在住＝の協力で初めてオリジナル曲を作った。自分たちの思いを曲に乗せて観客に届けようと懸命に練習に励んでいる。

「光のページェント」参加の笹口小 オリジナル曲作る

輝く未来 歌おう

「思いに残るあざささ」
「笑顔あふれる場所」な
藤さんに伝えて曲に練り

7日点灯式で披露

「思いに残るあざささ」
「笑顔あふれる場所」な
藤さんに伝えて曲に練り



オリジナル曲の披露に向けて意気込む6年生＝新潟市中央区の笹口小

遠藤さんは「子どもの言葉を聞いて、こころを
見つめる純粋な表情を思
い浮かべながら作った。
曲を初めて聴いて目撃感
いたと言ってくれたう
れしさが忘れられない」と
語る。

当日は午後6時過ぎ
に、遠藤さんの演奏とと
もに児童が歌声を披露す
る。中津川利沙さん(12)
は「私たちの言葉になら
ない思いをそのまま曲に
してもらった。聞いた人
にもそれぞれ自分の思い
を重ねてもらえるように頭
上げてもらった。
曲のタイトルは「けや
きの想い」。朝日や光が
輝くけやき通りから、そ
れぞれの未来へ向かう児
童の姿が、優しいメロテ
ィーに乗せられている。
「同小に多い」転校や
進学でみんながばらばら
になっても光のページェ
ントで集まれば、またつ
ながることができる。こ
の思いも来年の6年生に
受け継いでほしい」と声
を弾ませる。

中央区

けやきの想い

作詞：遠藤 征志
笹口小学校 6年生
(2018年度)
作曲：遠藤 征志

朝日の 恵みを胸に
この道 共に歩いた
ああ 友よ 君と誓った夢は
遠く離れても 同じ空に輝くよ

※嬉しいこと 泣いたことも
心の中の 光になり
10年後も 20年後も
けやき通りが 君を待ってる

Ah Ah あの目を 目を
Ah Ah 忘れない
つないでいくよ いつまでも

きらめく 星に祈りを
この道 光にあふれ
ああ 友よ 君と誓った想い
遠く離れても この空に解き放つ

※くりかえし
Ah Ah あの灯を 灯を
Ah Ah 忘れない
大好きな街 いつまでも

※くりかえし
Ah Ah あの目を 灯を
Ah Ah 忘れない
大好きな人 いつまでも
輝いて

イルミネーション こめた思い

クリスマス控え 各地で開始

もうすぐクリスマス。県内の各地で、イルミネーションの明かりがとまり始めた。支える人たちは、街を照らす光に様々な思いをこめる。

7日夕、JR新潟駅南口のけやき通り。約1.5kmの並木道を約26万個のイルミネーションで飾る「NIIGATA光のページェント」の点灯式で、近くの新潟市立笹口小学校の6年生40人の歌声が響いた。

「へ10年後も 20年後も けやき通りが 君を待ってる」
歌い終わると、集まった大勢の人たちから大きな拍手があがった。

曲名は「けやきの想い」。11年前からイベントの準備に携わってきた同小



「光のページェント」の点灯式で歌う笹口小の6年生＝7日、新潟市中央区

の提案で今年、新潟市西区出身のピアニスト遠藤征志さん(40)＝東京都在住＝に依頼し、新たに作詞・作曲してもらった。

曲づくりを決めたのは6月。6年担任の和田藍子教諭(42)と児童らが話し合う中で思いついた。7月、和田教諭の知人だった遠藤さんに来てもらい、児童がけやき通りや光のページェントについて抱く思いを伝えた。卒業で離ればなれになるから、いつまでも思い出の場所にしたい。遠藤さんは、そんな思いを歌にした。

曲の完成は10月。児童らは歌の練習を重ねながら、近くの専門学校の協力を得て販売するマドレーヌを作ったり、電球にガチャガチャのカプセルを取り付けて様々な色に光るようにしたりと準備に奔走した。

松崎怜生さん(12)は「楽しかったり、ふざけて先生に怒られて反省したり。いろいろなことが心に残った」。



「光のページェント」11日、新潟市中央区

佐藤瑞歩さん(12)は「最初は大変で嫌だったけど、協力してチームワークよくできた。離れても、ここにくれば会えるのかな、と思えた」。曲はCDに録音し、イベントの実行委員会に寄贈した。

白鳥で有名な蕨南に近い阿賀野市の水原本町商店街では、商店主らによる「イルミフェスタ」が開かれている。酒屋やラーメン屋など16店が参加し、

友との絆ずっと 店舗減少 歯止めを

■県内の主なイルミネーション (個人や企業単独のものは除く)

グローイングイルミネーション	いくとびあ食花 (新潟市中央区)	～19年1月14日
ウィンターイルミネーション	大手通 (長岡市)	～19年2月14日
街路樹イルミネーション	見附市役所周辺	～19年2月14日
イルミフェスタ	水原本町商店街 (阿賀野市)	～19年1月6日
NIIGATA光のページェント	JR新潟駅南口周辺(新潟市中央区)	～19年1月31日
中条駅前広場イルミネーション	JR中条駅 (胎内市)	～19年2月末

それぞれが店を電飾で飾る。商店街の店舗は、8年前は50を超えていたが、いまは40ほど。減少に歯止めをかけようと、4年前に国の補助金に応募したのを機に始めた。

当初から実行委員長を務める渡辺洋一さん(61)の店は和菓子店にもかかわらず、光るトナカイやキティちゃんなどで華やかに飾られている。ホームページと撮影する人もいるという。

大型店への客の流出や後継難。商店街を取り巻く状況は厳しいが、今後も続けるつもりだ。「またがんばってやるぞ、と発信したい」

長岡市の南部工業団地にある特殊金属メーカー「トクサイ」(従業員86人)では、通りから見えるように木を飾ったり、クリスマスツリーをかたど



「けやきの想い」CDジャケット